

凡事徹底 野間中だより

平成27年1月9日
第202号
野間中学校



明けましておめでとうございます。

校長 寺田 眞一



明けまして、おめでとうございます。
2015年が始まりました。年頭に当たり、みなさんもぜひ自分の目標をもってもらいたいと思います。2015年はどんな年にしたいと思いますか。
あるウェブで「日本に来たばかりのとある外国人の方の体験談」が紹介されていました。

日本に来てまだ間もない頃、私は友人と食事に出かけ家に戻った後、自分の財布がないことに気づいた。私は冷や汗が吹き出すのを感じた。現金数万円は仕方がないにせよ、免許証などの証明書、キャッシュカードなどもその財布の中だ。再発行しようものなら1日2日じゃ済まない。昼に食事に出かけ、財布がないことに気づいたのは夕方5時。「終わった」と心の中で思った。こんなに時間がたっているのに絶対に見つからないだろうと思った。友人に電話をすると、「きっと見つかるよ。」と慰めの言葉をかけてくれ、その後友人と近くの交番を訪れた。交番の警官は事情を聞き、紙を一枚私に渡した。名前や住所、なくした物、その形や色などを書かせた。私は書きながら「家で連絡を待つことになるのだろうか」と思った。紙を書き終え、その警官に渡すと、警官はその紙をもって奥に行き、ほどなく奥からでてきた。手には私の財布が！。不思議さとそれを越える感謝の気持ちがわいてきた。しかも現金、証明書、キャッシュカードなどすべてそろっていた。警官に何度もお礼を言うと困ったような顔をして笑いながら「今後は気をつけて下さいね。拾った人がわざわざ届けなければなりませんからね」と言った。

良い心、良心のサイクルとはこういうことではないだろうか。なくした財布が交番で見つかった。拾ってくれた人への感謝の気持ちを抱いた私は、今後もし何かを拾ったらきっと交番に届けるであろう。そして、また別のだれかがそれに感謝して同じ事を繰り返すであろう。このような「良心のサイクル」によって社会の雰囲気はますます良くなり、人同士もお互いをますます思いやるようになるのであろう。

と、いう話です。野間中学校も良心のサイクルがつながる学校でありたいと思います。
2015年はぜひ、人を思いやる心をみんながもって、良い1年になることを願っています。



1月7日(水) 始業式校長式辞より抜粋

「凡事徹底」を見直そう！

「凡事徹底」は本校の教育目標です。当たり前のことを当たり前のようにできる生徒の育成が目標です。その当たり前のことがいささか疎(おろそ)かになっていないかどうか、振り返るための「凡事徹底」啓発のぼりを20本作製しました。

このぼりを昇降口に設置し、また今後あいさつ運動や部活動の大会などでも掲げていく予定です。



表彰の記録 (順不同, 敬称略)

平成26年度南知多町長杯争奪中学生剣道大会
男子団体 優勝 西田 龍世, 松村 裕史, 近藤 本, 間瀬 陽平, 小野 正晃
男子個人 優勝 近藤 本
女子個人 優勝 石黒 海里
赤い羽根募金 書道コンクール 銀賞 川口 実咲
毎日新聞パソコン入力検定
愛知県知事賞 千賀 捺月 毎日新聞パソコン賞 久網 陽平・田村有梨沙
平成26年度野間中学校生活委員会いじめ防止キャンペーン標語
最優秀作品 渡邊 亜実 「大丈夫 ぼくらはみんな 一人じゃない」
鵜飼 りりか 「何気なく 話す会話も 大事なサイン」
日比 佳典 「気づこうよ 笑顔の裏の 暗い顔」



全国学力・学習状況調査を終えて

4月22日(火)小6・中3を対象に全国一斉に行われた全国学力量習状況調査の結果を分析しました。全国学力・状況調査は全国的な生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的に取り組んでいます。

生活の様子、国語・数学の結果などの調査を分析した内容は以下の通りです。

①生活面等の様子

＜全国や愛知県の値より優れている項目＞

- ・朝食を毎日食べている。
- ・自分に良いところがあると思う。
- ・家の人は授業参観や体育祭などの学校行事に来る。
- ・地域の行事に参加している。
- ・いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。 など

＜全国や愛知県の値と比べて、課題があると思われる項目＞

- ・国語の授業で意見などを発表するときうまく伝わるように話を組み立てる工夫が苦手である。
- ・普段、テレビやDVDの視聴、ゲーム、携帯電話・スマートフォンなどでの通話やメール、インターネットなどの時間が長い。
- ・学校の授業時間以外の勉強時間が少ない。
(家で計画を立てて勉強をしたり、授業の予習・復習をしたりしていない) など

②国語・数学について

- ・国語では、基礎基本は県平均だが、応用力が県平均に比べ不足している。
- ・数学では、基礎基本、応用力ともに県平均に比べ不足している。
- ・国語、数学とも上位層、低位層が少なく、中位層が多い

以上の結果から、「家庭学習の習慣化」、「わかる授業づくり」の2点が今後の学力・学習についての課題だと考えます。家庭での学習習慣確立に向け、「やればよい」ものから「考えて取り組む」といった内容となるよう家庭学習の内容や量を工夫していきたいと思えます。また、授業においても授業規律を大切にすることはもちろん、話し合い活動の充実や学習の工夫を行い、「わかる授業づくり」に努めていきたいと思えます。

教務主任 清水 靖



続けよう！「黙々清掃」 美化委員会

12月17日(火)から1週間、美化委員会の呼びかけで、「校内の美化を意識し、自ら環境を整えようとする態度を育てる」ことを目的とした「黙々清掃」週間を実施しました。

「黙々清掃」とは、清掃時間中、言葉を発せず黙々と清掃に打ち込もうというものです。当然、清掃の時間に流れる音楽もありません。実施当日、生徒たちは「しゃべらずよろうね」「進行状況を目で合図しあおうね」など事前に確かめ合い、清掃が始まると清掃の音だけが聞こえるという状況でした。実施後の生徒の意見でも「黙々とやることで掃除に集中できてよかった」「よそ事をする人がいなかった」「集中して取り組むことでいつもより効率的に清掃ができた」などの意見が寄せられました。黙々清掃をすることで、生活全般に落ち着いてきたように感じられました。

今後も美化委員会を中心に「黙々清掃」を呼びかけ、「黙々清掃」が野間中では当たり前となるようにしたいと思えます。ご協力よろしくお願ひします。



新学期に向けて！



冬休みを利用して、野間中職員で新学期にむけての作業を行いました。12月24日には、使わなくなった旧規格の机やロッカー等を廃棄処分するために、クリーンセンターへ運びました。その際、野球部の生徒たちも協力してくれました。チームワークもよく、力持ちの野球部の助っ人のお陰で短時間で作業を終えることができました。

また、1月6日には、校長先生を講師に、転倒防止作業や2年女子第2更衣室のカーテンつけ等を職員で行い、新学期に向けての準備を行いました。



編集部より 「野間中だより」をご愛読ありがとうございます。「野間中だより」に関するご感想やご意見がございましたら、編集部までお寄せください。

野間中だより編集部 nomajh_dayori@yahoo.co.jp